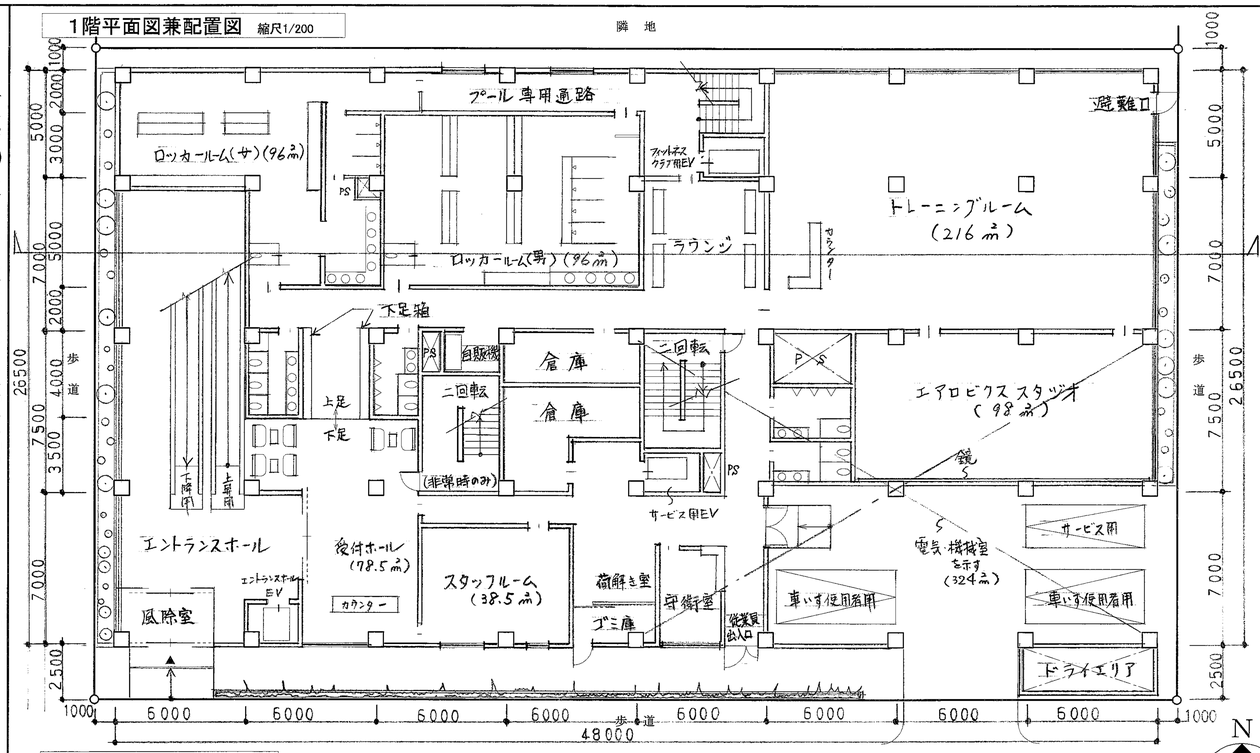
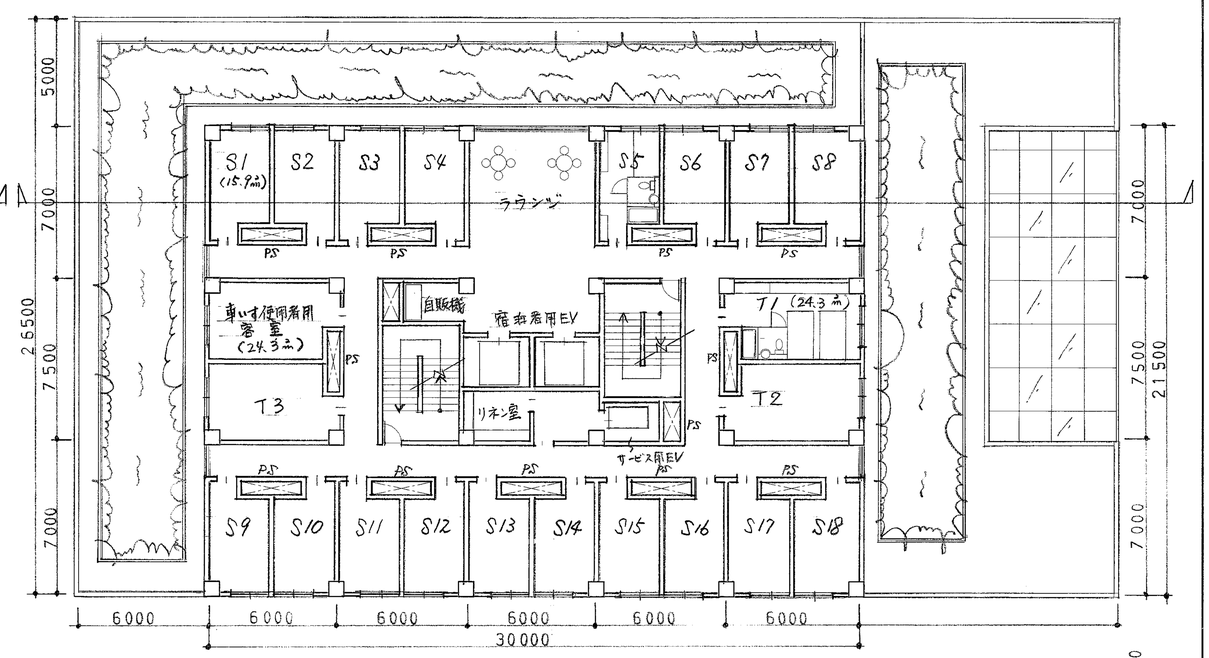
平成20年 一級建築士試験「設計製図の試験」

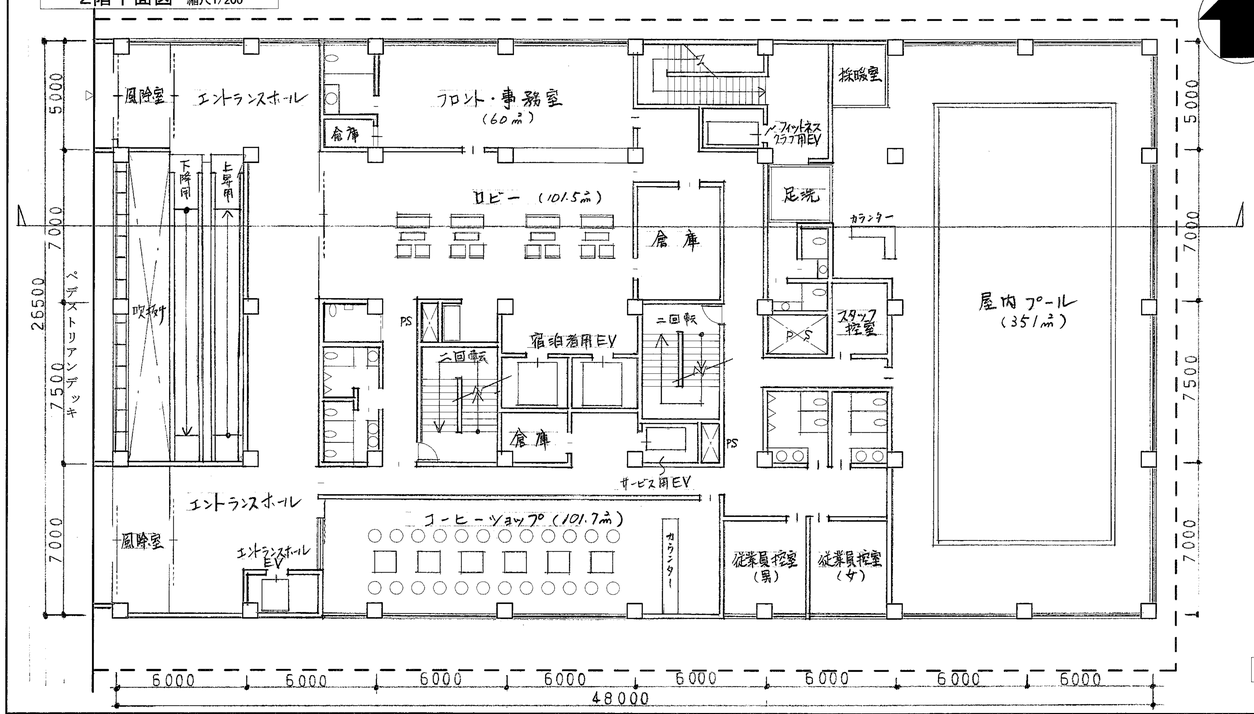
1階平面図兼配置図 縮尺1/200

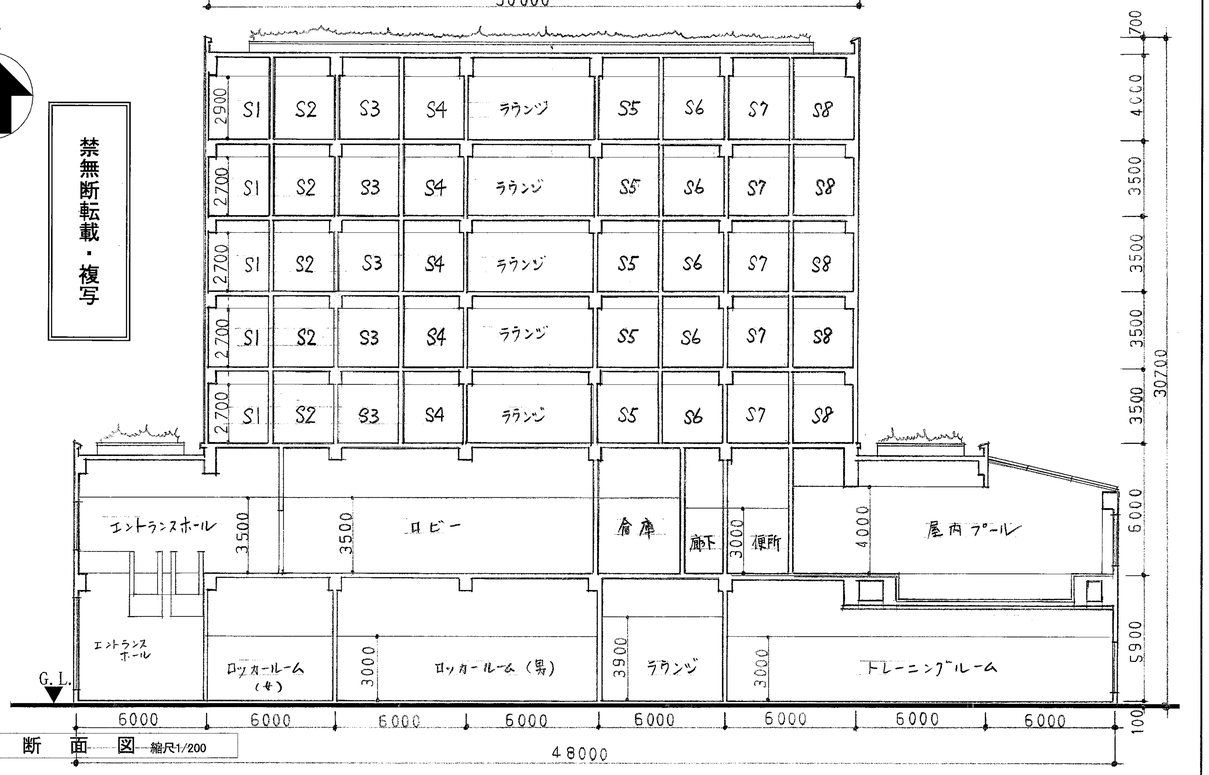


基準階平面図 縮尺1/200 (3階平面図を記入する。)



2階平面図 縮尺1/200





断面図 縮尺1/200

禁無断転載・複写

計画の要点等 (要求図面に該当箇所があれば、引出し線等により補足して明示する。)

① 建築計画について、特に配慮したこと

客室階において、隣地側は視線を配慮し、セットバックした。また避難を考慮して、ロの字型の廊下とした。
屋内プールは上部に客室を載せず、構造負荷軽減を図った。
バック動線は、部門間でつながるように配慮した。

② 構造計画について、特に配慮したこと

鉄筋コンクリート造を主体にスパンを考慮した。
一部プール部の屋根は大架構となるため、SRC造としたが、プール下部については中間に柱を設けRC造としている。

③ 建築物の環境負荷低減について、特に配慮したこと

客室階最下部において、低層部屋根の照返しを防ぐため、植栽を施し、負荷低減を図った。
西側に面する2階エントランスホールは、西日対策としてルーバーを設置した。プールに自然採光を取り入れるため、トップライトを設けた。

④ 設備計画について、採用した空調方式とその理由

(空調方式) 客室階はファンコイルユニット方式　その他は単一ダクト方式
(理由) 客室階は稼働状況によりコントロールできる方式とし、その他は営業時間帯が明確で集中コントロールが可能であるため

面積表 (算定式は、床面積の算出過程がわかるものであればよい。また、算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

床面積	3～7階	(算定式) 30 × 21.5	×5 =	3,225 ㎡	合計 5,606.7 ㎡
	2 階	(算定式) 48 × 26.5 − 2.5 × 14.5 (吹抜け)	=	1,235.7 ㎡	
	1 階	(算定式) 48 × 26.5 − 18 × 7	=	1,146 ㎡	

標準解答例②

(この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)